

音 潮 海

結集し 語り合い 自覚しよう



写真：マ・ヤンソン / MADアーキテクト「Tunnel of Light」(Photo by Yamada Tsutomu)

第91号

発行：令和 7年 7月 30日
新潟県曹洞宗青年会

事務局：新潟市中央区田中町5178
発行人：薄田 孝道
編集人：渡邊 玄貴

会長挨拶

4-1

延命寺 薄田 孝道



県内御寺院様、関係各位の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より青年会活動に對しまして、ご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年12月に開催されました臨時総会におきまして、23期会長の任を拝命いたしました、第四宗務所第一教区 延命寺副住職 薄田孝道と申します。もとより浅学非才の身であります。誠心誠意尽力してまいれる所存であります。本間前会長の後を引き継ぐという事、そして間もなく50周年を迎える歴史ある新潟県曹洞宗青年会の会長という事で、その重責を感じ身の引き締まる思いであります。4月2日の定例総会におきまして、今年度の事業計画・予算案等をご承認頂き、いよいよ新執行部として新たなスタートを切ることができました。

しかしながら会員減少に伴い、一般会計の状況は年々厳しさを増しております。予算の見直しを図ることにより、事業縮小することなく、これまで継続してまいりました事業を柱に、新たな活動も模索できればと考えております。つきましては、今年度より頒布部

門準備室を立ち上げ、次年度より本格的に始動できるよう準備を進めます。また、ホームページ・SNSの積極的活用により、予算削減のみならず円滑な情報発信が可能となるものと考えております。この場をお借りしまして、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

加えて、昨年より継続的に活動しております能登半島地震復興活動につきましても、現地のニーズに寄り添い、本年度も積極的に活動してまいります。1日も早い復興により、穏やかな生活が戻ることを切に願っております。

早いもので、県曹青に入会して約20年が経過し、任期満了と同時に賛助会員となります。これまでの活動を通じて、多くの学びと出会いに恵まれ、今日の私があります。残り2年という限られた時間ではありますが、まだまだ学び、出会い、知見を広げていければと思います。また、社会情勢の変化に左右されることなく、我々青年僧は一佛両祖並びに歴代御祖師方の教えを堅持し、諸先輩方の指導を仰ぎながら、その教えを後世に伝えていく使命があります。その使命を果たせるよう、県曹青スローガン「結集し語り合い、自覚しよう」を胸に、与えていただいた役割を全うできるよう尽力いたします。

結びに、関係各御寺院様並びに協賛企業各位の益々のご活躍と御法体堅固をご祈念申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。2年間何卒よろしくお願い申し上げます。

退任挨拶

4-7

宗寿寺 本間 誠宏



盛夏の候、管内諸老師をはじめ各位におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

月日が経つのは本当に早いもので、任期満了につき、会長を辞することとなりました。県曹在籍20年余り、今までのお礼奉公のつもりで2年間勤めさせていただきました。大事無く任期を全うすることができましたのも、諸先輩方を始め会員諸師また関係各位の新潟県曹洞宗青年会へのご理解とご協力の賜と存じます。この場を借りて御礼申し上げます。

振り返りますと、就任当初まだ集会もリモートという世相ではありましたが、「結集し語り合い自覚しよう」というスローガンに立ち返り、会員の親交交流の復活を第一課題とし、県曹がより県曹らしくをモットーに親睦スポーツ大会、40周年事業報告会など各親睦会の再開を行って参りました。

そして既存事業でもある推進室事業のさらなる進展に、仏前結婚式の挙行・エンカツ事業、いくとびあ坐禅会また各

種坐禅会の人員補佐を図りました。また寺院運営を題材とした研修会の開催、SNSを運用した情報発信により世間との接点を模索して参りました。

昨年度中は能登半島地震復興支援活動へ全曹50周年事業炊き出し研修への協力、大本山總持寺祖院での被災者慰霊法要など微力ながら会員各位が被災地と向き合う時間を作りました。また昨年は県曹設立45年の節目の年に際し、50周年事業へ向け会員相互の連携を強化する目的でのTシャツ作製事業を行いました。これらは今後頒布事業への発展が望まれる事業となりました。

事務局が2年という期間で成し遂げられる事には限りがあると思いますが、歴代の会長から繋がれたバトンをアップデートしながらその繋がりを絶やさずに次の執行部に渡していく事に事務局をさせて頂く意義を感じております。新会長の薄田師は前副会長でもあり、事務局でのキャリアも長く、独自の目線からその場に合った機転の利いた言動で皆さんを楽しく引つ張っていただくものと確信しております。

設立50周年に向かい、新潟県曹洞宗青年会益々の発展を祈念し退任の挨拶とさせていただきます。

2年間ありがとうございました。

令和7年度 定例総会報告

4月2日(水)、令和7年度定例総会が長岡グランドホテルにおいて37名出席のもと開催された。本間誠宏会長の挨拶後、議長に武藤文隆師(4-7)、書記に藏品隆法師(1-8)が選出され、下記議案について、報告、討議がなされ承認された。

○ 定例総会議事

1. 令和6年度事業報告

村井良弘事務局長より報告が行われた。

2. 令和6年度決算報告及び監査報告

藤田祥典一般会計、阿部正智特別会計よりそれぞれ報告され、尾崎慧光監事(1-11)より監査報告がなされた。

3. Tシャツ製作委員会について

石村裕憲師(1-1)より事業報告、坂内洋平師(1-2)より会計報告が行われ、尾崎慧光監事より監査報告がなされた。最後に久保尚之委員長(1-2)から委員会解散の挨拶がなされた。

4. 事務局並びに評議員改選について

第23期新執行部への交代が報告され、薄田孝道新会長(4-1)欠席のため、藤田祥典新副会長(1-1)より事務局、評議員の委嘱について説明がなされた。

会長 薄田孝道師(4-1)、副会長 藤田祥典師(1-1)、副会長 保坂文哉師(3-2)、副会長 稲垣大應師(4-7)

事務局長 山田大龍師(1-15)、一般会計 阿部正智師(4-2)、特別会計 伊藤隆憲師(4-1)

5. 令和7年度事業計画(案)について

山田大龍事務局長より説明があり承認された。

6. 令和7年度予算(案)及び、予算改革案について

藤田祥典副会長より、来年度からの予算改革案について概要が説明され、阿部正智一般会計より予算(案)について説明があり承認された。

7. 頒布部門準備室について

石村裕憲頒布部門準備室室長(1-1)より、頒布部門準備室の活動内容が説明され、予算を特別会計より支出することが承認された。

8. その他

○ 令和7年度予算改革について

近年、新潟県曹洞宗青年会の一般会計の決算は、繰越金を使い、20万前後の減が続いております。頒布部門の発足と合わせて、現在の一般会計の中で、削減できるところはないか、また協賛金の新規開拓についても、執行部内で協議してまいりました。今回、削減案また協賛金について本会で承認いただき、あらためて今後の活動に努めてまいります。

① 会報誌「海潮音」の正会員への発送を止め、HPに掲載する形で閲覧してもらう。

・賛助会員、関係御寺院、協賛業者の皆様への発送は今まで通り。(これにより、約100通分の印刷費、発送費年2回分を削減することが可能。)

・今後発行する「海潮音」はアーカイブとして閲覧が可能。但し、予算決算関係の掲載はしない。

※会計確認：サーバーポスティング費53,200円(税別) 現会計執行済、海潮音アーカイブページ作成45,000円(税別) 初期費用、更新費用9,000円(税別) 印刷発送費約450円×110名×2回≒約10万円の削減が可能。

② 新規協賛業者の開拓。青年会活動に対しての協賛として1口1万円という納入方法で募集。

・周年事業でお世話になった協賛業者様や各地域の業者様に正会員から協賛の依頼など、新規協賛業者を探す取り組みを模索。「海潮音」に協賛業者として一覧を掲載。HP掲載により、以前より広告効果は上がる見込み。

・2口以上納入された業者様に関しては、「海潮音」協賛業者と同じく広告スペースを確保。

・今まで「海潮音」の協賛金として2万円の出資をいただいていた業者様に関しては、例年通り2万円の協賛金をいただき、広告を掲載。

▶令和6年度 事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

日 付	事 業 ・ 会 議 名	会 場 ・ その他	備 考
4月2日	評議員会議・定例総会	長岡グランドホテル	評議員会議22名、総会38名
5月23・24日	全曹青評議員会・総会全曹青50周年記念式典・記念講演	曹洞宗檀信徒会館	4名
6月26日	全曹青50周年事業 災害復興支援活動全国研修会	大本山總持寺祖院	5名
7月30日	海潮音89号発行	編集委員長：佐藤公彦師(1-6)	担当：小出郷青年会
10月7日	親睦スポーツ大会	実行委員長：武藤悠真師(4-3)	27名
10月25日	北信越管内青年会連絡協議会	富山県民会館	2名
11月11日	本部事務局会議	アオーレ長岡	15名
11月21日	全曹青臨時評議員会・50周年記念法要	大本山永平寺	2名
12月3日	評議員会議・臨時総会・歓送迎会	ホテルイタリヤ軒	評議員会議30名、総会57名
3月5日	研修会	大本山總持寺祖院	12名
3月5・6日	研修旅行	石川県	12名
3月13日	本部事務局会議	アトリウム長岡	20名
3月20日	海潮音90号発行	編集委員長：佐藤公彦師(1-6)	担当：小出郷青年会

全曹青出向 担当：石村裕憲師(1-1) 久保尚之師(1-2) 乙川大樹師(4-8)

※全曹青に出向して全曹青の活動に協力する事業(令和6年全曹青50周年記念事業に向けての人員要請に対応し増員)

研修会企画担当係 責任者：薄田孝道師(4-1)

※研修会の企画 SNSやホームページの運営

防災担当係 責任者：高野道弘師(1-13)

※自然災害時の対応、災害ボランティアなど

結の仏推進室 責任者：古川竜洋師(3-1) 室長：深井宗悦師(4-11)

※仏前結婚式推進事業。35周年記念事業「結の仏」の発展、推進

令和6年度活動：男女が集うイベントの企画検討・開催 仏前結婚式のサポート(各種データ提供・器物貸出)

坐禅会推進室 責任者：古川竜洋師(3-1) 室長：目黒雄生師(4-2)

※坐禅をより多くの人に広めることを目的としての事業

新潟市「いくとびあ食花」等で開催される坐禅会への協力など

Tシャツ作製委員会 委員長：久保尚之師(1-2) 事務局：石村裕憲師(1-1) 会計：坂内洋平師(1-2)

※新たなロゴ等のデザイン作成し活用していく場を企画する



電気を支え・人に支えられ・未来へ



株式会社 荻荘電機

代表取締役会長 荻荘 賢一

本 社 〒950-0154 新潟市江南区荻曾根 2-1-7 TEL025-382-3116
さいたま営業所 〒331-0813 さいたま市北区植竹町 1-100 TEL048-666-0164

令和6年度各事業詳細

1. 全曹青出向報告

① 執行部庶務

- ・世界禅チャレンジ
(岩手・正法寺、大本山永平寺)
- ・執行部会・理事会の開催(年間5回)
- ・花まつり千僧法要(奈良・東大寺)
- ・記念式典・総会・講演(東京)
- ・東日本大震災慰霊復興祈願行持
(岩手・宮城・福島)

② 総合企画委員会

- ・仏教行事や記念式典への参加
(東大寺、大本山總持寺など)
- ・九州・北信越・東海管区など
各地での活動
- ・頒布物(仏教教材など)の制作と配布
- ・写経奉納や花まつり普及の取り組み

2. 研修会企画担当係

① SNS・HP係

- ・LINE・Instagram・
Facebookでの継続的な情報発信

② 研修会係

- ・石川県にて研修旅行を開催、大本山總持
寺祖院にて慰霊諷経・清掃等を実施

3. 防災担当係

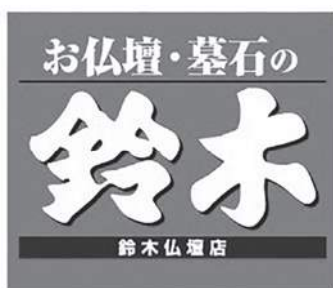
- ・輪島市での物資配布、瓦礫撤去、
墓地整備
- ・大本山總持寺祖院での復興作業、
炊き出し訓練
- ・仮設住宅での傾聴行茶活動
- ・涅槃会準備、物資運搬
- ・災害見舞金支出
(大本山總持寺祖院、秋田・山形曹青)

4. 結の仏推進室

- ・仏教縁活事業
(レストランで僧侶と一般女性に参加)
- ・会場・創作和食レストラン禅ZEN
(新潟市NEXT21 16階)
- ・仏前結婚式の協力依頼はなし

5. 坐禅会推進室

- ・親子イス坐禅会を継続開催
(毎月第2日曜、いくとびあ食花)
- ・8月休止、2月は大雪により中止
- ・出張坐禅会の支援・講師募集も実施中



<http://www.suzukibutsudan.co.jp/>

幸せとやすらぎの心を創る

白根
特産

鈴木佛壇店

白根本店
〒950-1223
新潟市南区白根日の出町10-8
TEL (025) 373-4155(代)
FAX 373-4157

小針店/新潟市西区小針4丁目5-13 TEL (025) 233-3135
五泉店/五泉市粟島634-4 TEL (0250) 47-3668
仏壇工場/新潟市南区白根日の出町10-8
石材工場/新潟市南区茨曾根2167-1



K Y O T O

曹洞宗専門

株式会社 辻法衣仏具店

〒601-8392 京都府京都市南区吉祥院内河原町 6-16 tel+fax: 050-3673-1631

▶令和7年度 事業計画

令和7年4月1日～令和8年3月31日

日 付	事 業 ・ 会 議 名	会 場 ・ その他	備 考
4月2日	評議員会議・定例総会	長岡グランドホテル	
5月27日	評議員・事務局会議	アトリウム長岡	
5月30日	全曹青評議員会・総会	大本山總持寺	
7月	海潮音91号発行	担当：1-8 青年僧侶の会	
9月10日	親睦スポーツ大会	実行委員長：武藤悠真師(4-3)	
	北信越管内青年会連絡協議会	当番：曹洞宗石川県青年会	
11月	全曹青臨時総会		
11月	本部事務局会議		
12月	評議員会議・歓送迎会		
2月	海潮音92号発行	担当：1-8 青年僧侶の会	
3月	本部事務局会議		
	研修会		

※都合により変更になる場合があります。予めご了承下さい。

全曹青出向	担当：石村裕憲師(1-1)
※全曹青に出向して全曹青の活動に協力する事業	
HP、研修会企画担当係	責任者：藤田祥典師(1-1)
※研修会の企画 SNSやホームページの運営	
防災担当係	責任者：稲垣大應師(4-7)
※自然災害時の対応、災害ボランティアなど	
結の仏推進室	責任者：保坂文哉師(3-2) 室長：塚野順也師(4-6)
※仏前結婚式推進事業。35周年記念事業「結の仏」の発展、推進 令和7年度活動：男女が集うイベントの企画検討・開催 仏前結婚式のサポート(各種データ提供・器物貸出)	
坐禅会推進室	責任者：保坂文哉師(3-2) 室長：目黒雄生師(4-2)
※坐禅をより多くの人に広めることを目的としての事業	
頒布部門準備室	室長：石村裕憲師(1-1)
※頒布部門を令和8年度より、発足させるために、予算や税務について調べ、準備をする	
北信越管区理事	理事：久保尚之師(1-2)

TOA トーア 仏壇 墓石 みこし
株式会社

本社／新潟県長岡市寺島町817 ☎ 0120-00-1930

長岡本店
長中央店

新潟竹尾店
上越店

南魚沼店
花の店(長岡駅)

中之島工場
石材工場

23期 新潟県曹洞宗青年会 頒布部門活動計画

○ 令和7年度の活動計画予定

頒布活動に必要なものの整理とサンプル作製を通じて体制を整えることを念頭に本年度は活動を次の項目毎に予定している。

1. 頒布活動に関わるものの整備、頒布活動をしていく際の様々な方法を整備するため、多岐にわたる項目を精査し運用するための準備を整える。

・注文方法の検討・連絡先・注文データの作製

・領収書などの作成・会計処理の整備・頒布物の管理

※年度が切り替わる際の処理なども課題

※一般会計と特別会計のどちらで処理するかも要検討

2. サンプルの作製。前期で作製したデザインを使い、追加で頒布物の制作に取り掛かる。

頒布という性質上寺院で使うもの、布教に役立つもの、法式に関わるものが望ましい。

○寺院で使うもの、布教に役立つものの一例として・懐紙・付箋やメモ帳

・リフレクターチャーム(反射材キーホルダー)など。

○布教、法式に関わるものとして過去事業で作製した、授戒會便覧帳

・仏教徒オープニングノート・授戒會經典・仏前結婚式のおりを検討。

3. Tシャツの継続頒布として昨年度作製したものを再度頒布できるかを検討。

県曹青 LINE



県曹青 Instagram



県曹青 Facebook



県曹青 HP



◆大本山永平寺・總持寺参拝の旅◆インド仏跡巡拝の旅◆観音霊場・四国巡拝など
仏教界随一の団体参拝旅行会社

SHOKA TOURS 新潟ビーエス観光

〒940-0041 新潟県長岡市学校町3-12-4
TEL0258-34-4848 FAX0258-34-0227
E-mail: niigata.b.s@jeans.ocn.ne.jp

You Tube チャンネル開設いたしました。
下記QRコードより是非ご覧ください。

ホームページはこちら



YouTube



福宝

本社/新潟市南区根岸 1511 TEL 025-362-1658(代)

- | | |
|-----------------|-------------|
| ■ 1級お墓ディレクター | 19名(県内No.1) |
| ■ 2級お墓ディレクター | 128名(〃) |
| ■ 仏事コーディネーター | 102名(〃) |
| ■ 伝統工芸士・一級石材技能士 | 在籍者県内No.1 |

全国の仏壇店から製作・修復のご依頼を承っております(飯山・金沢・富山・名古屋等)

白根福宝工場 TEL 025-362-1657 ・ 秋田福宝工場(お仏壇卸業) TEL 0183-56-6200

令和6年度研修旅行

ボランティア報告

3月5・6日

4-12 清流寺 二瓶法尊

この度、1泊2日の研修旅行に参加させていただきました。今回は特に大本山總持寺祖院様での活動に重きをおいた研修でした。

3月5日、朝5時30分大榮寺様に到着し、忘れ物のない様にバスに荷物を乗せ、参加者がそろった所で出発しました。

各集合場所を経由すると、本間会長よりご挨拶いただき、強い意気込みが伝わりました。

道中、石川県に近づくにつれ会話が震災の話題に移り、能登半島の日本海側を通ると、1年以上経つにもかかわらず、くつきりと隆起前の海面の跡が残り、テトラポットは完全に陸にあがっていました。

別件で震災後すぐ訪問させて頂いた際、隆起した海岸には網やブイ等が残ってましたが、私が見た感じだと、手を付けた様子はありませんでした。

倒壊した建物の瓦礫回収は進んではいますが、いわゆる「崩壊の危険がある家」は一部残つて

おり、道路には凹凸が残る部分があるもの、ある程度アスファルトで補強されました。

祖院様に到着しましたら、諸堂を案内していただき、初めて山門より内を拝観させていただきました。見ると、回廊は一部撤去または鉄パイプで補強され、また初見では分らない被害状況を説明くださいました。

その後、会長が導師のもと、本堂にて被災者供養並びに、復興祈念の法要をさせて頂き、時間の許す限り、掃除、瓦礫の運搬等させて頂きました。

宿に着いて金沢で夕食し参加者と親睦を深めさせていただきました。

2日目鈴木大拙館、忍者寺を研修、近江町市場で昼食し、帰りのバスで休みました。

被災地全体からしたら僅かな復興支援活動ですが、必要とされ、そこに力を注ぐのであれば、有意義で貴重な時間であると私は伝えたいです。

寺院用仏具・仏壇・墓石・製造販売



株式会社

放光

- 本社・工場 〒940-0825 新潟県長岡市高畑町 617 TEL 0258 (33) 5644 ☎ 0120-174176
- 長岡ギャラリー 〒940-1146 新潟県長岡市下条町 717 TEL 0258 (22) 3452
- 新潟店 〒950-0941 新潟県新潟市中央区女池 2-2-11 TEL 025 (280) 1550

御法衣 大本山御用達 京仏具



京市衣 加盟店

全国曹洞宗法衣同業会会員

創業1915年



株式会社 松本屋

〒600-8035 京都市下京区寺町通高辻角

電話 (075) 343-1200 (代)

FAX (075) 371-4080

URL: <http://www.matsumotoya.com>E-mail: kyoto@matsumotoya.com



山門付近の様子



導師、本間誠宏会長



大祖堂にて集合写真



大祖堂清掃



被災建物からの器物搬出



被災者供養、復興祈念法要

医療法人社団 らぼーる新潟

整形外科・リハビリテーション科
訪問看護ステーション・訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション

ゆきよし クリニック

tel.025-382-3450

介護保険施設・短期入所 障害福祉サービス事業所・短期入所

ショートステイ・ゆきよし とやの

tel.025-280-0039

居宅介護支援事業所

ケアプラン ゆきよし

tel.025-288-5609

社会福祉法人 豊潤舎

機能訓練、生活訓練、就労移行支援、生活介護、施設入所支援、短期入所、日中一時支援

新潟県障害者リハビリテーションセンター

tel.025-381-8113

重症心身障害児放課後等デイサービス・生活介護

ういる

tel.070-6406-4943

介護保険施設・特別養護老人ホーム

昂(すばる)

tel.025-287-2450

<http://www.rnhj.jp>

理事長 荻莊則幸

手を合わせるのは、人だから。



よし うん どう
吉運堂

寺院用具・お仏壇・お墓

☎025-372-1138(代)

白根本店 新潟市南区戸頭 1347-1

新潟駅南店・新潟青山店・新潟東店・村上市・新発田店
佐渡佐和田店・燕三条店・見附店・長岡店・小千谷店
六日町店・柏崎店・上越店・糸魚川店・鶴岡店・酒田店
山形店・米沢店・天童店

事務局だより

今年度より第23期が始まり、新たな事務局となりました。薄田孝道新会長のもと諸先輩方が築いてこられた尊い歴史とご功績を受け継ぎつつ、新たな歩みを進めるべく事務局一同誠心誠意努めてまいりたいと存じます。皆様からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

会費納入のお願い

令和7年度の会費の納入をお願いいたします。
評議員の皆様に取りまとめの依頼をしてあるほか、直接依頼書を郵送させていただいております。ご確認の上、未納の方はお早めに納入をお願いいたします。
また、今年度より、正会員の皆さまへの海潮音の発送を中止し、HP上への掲載にて、海潮音をご覧いただく形に変更させていただきました。HP上の海潮音には予算書、決算書を掲載しないことが総会にて決まりましたので、評議員さんの会費取りまとめの際に、予算書、決算書を直接配布しております。ご確認をお願いいたします。

会員動静

〈ご成婚〉

6月28日 4-8 淵龍寺 永島 昌典師

〈晋山結制〉

5月18日 1-6 西福寺 平澤 龍彦師

〈新入会員〉

1-6 普門院 樋口 崇広師

事務局で把握した方のみ掲載いたしました。
各地の動静、慶弔等をお知らせください。

編集後記

今号より編集部は新体制となりました。とはいえ、華々しい船出とはいかず、現実には課題の山積み。予算削減、そして容赦ない郵送費の高騰。紙での発行を続けるのが、もはや「贅沢」と言われる時代になるとは誰が予想したでしょうか。

さらに、今年は米まで足りないという異常事態。異常気象、物流停滞、海外依存のツケ……。私たちの食卓も暮らしも、静かにそして確実に締め付けられています。「なんとかなるだろう」が通用しない時代、いよいよ本気で「備え」と「声」を持つべき時に来ていると感じます。

編集部としても、見て見ぬふりはしたくありません。誌面を守ることが目的ではなく、届けるべき内容を、届けるべき形で、誠実に伝えていくことこそ使命。紙かデジタルかではなく、伝える意志をどう貫くか。私たちの覚悟も問われています。

とはいえ、嘆いてばかりもいられません。新しい体制には、しがらみのない柔軟さを原動力に変える若いエネルギーがあります。今こそ、読者の皆さまと共に、声をあげ、知恵を出し合い、行動する時。生き延びるだけでなく、より良い未来を描く力を、私たちはまだ失っていないと信じています。どうか、これからも変わらぬ叱咤激励をお願いいたします。

渡邊玄貴 合掌

曹洞宗専門 全国曹洞宗法衣同業会会員

(有) 衣也 吉 澤

新潟県阿賀野市安野町 3-30 TEL(0250)62-2291(代) FAX(0250)63-1333

今年度 協賛業者

(有) さくら電気 (株) ビップ

(有) 小川屋仏壇店 (株) 新潟公益社